

平成30年度上期〈ながしん〉の現況について (平成30年4月1日～9月30日)

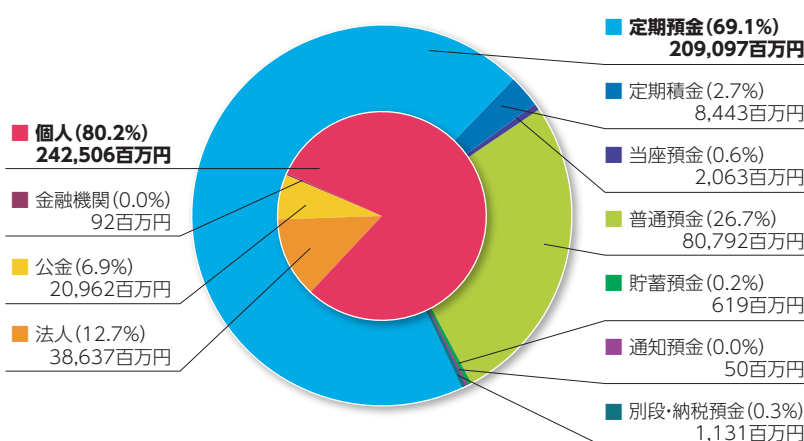
平成30年度上期 事業の概況 (平成30年9月30日現在)

預金残高
302,199百万円

個人のお客さまを中心に、科目別では定期預金を主体として、ご預金をお預けいただいています。

金利優遇定期預金の発売等により、平成30年9月末の預金残高は、平成30年3月末比9,904百万円、3.38%増加の302,199百万円となりました。

【預金の人格別残高内訳】

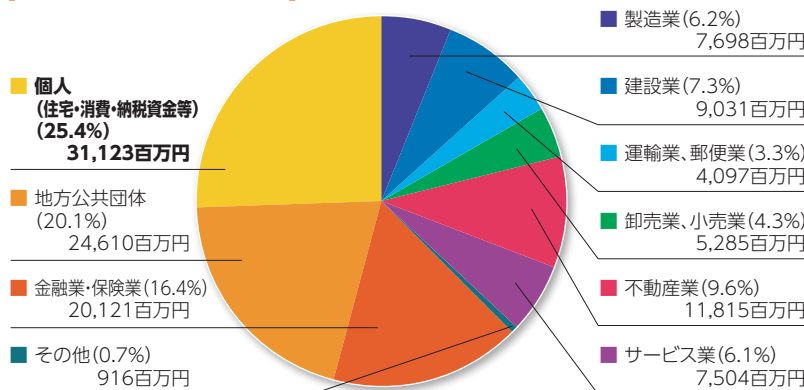


貸出金残高
122,209百万円

地元のお客さまからお預かりした大切なご預金は、地元のお客さまの様々な資金ニーズにお応えして、幅広い業種でご利用いただいています。

事業性資金需要が低迷する一方で個人向け融資の推進に努めました。また、金融機関向け融資が増加したこともあり、平成30年9月末の貸出金残高は、平成30年3月末比830百万円、0.68%増加の122,209百万円となりました。

【貸出金の業種別残高内訳】



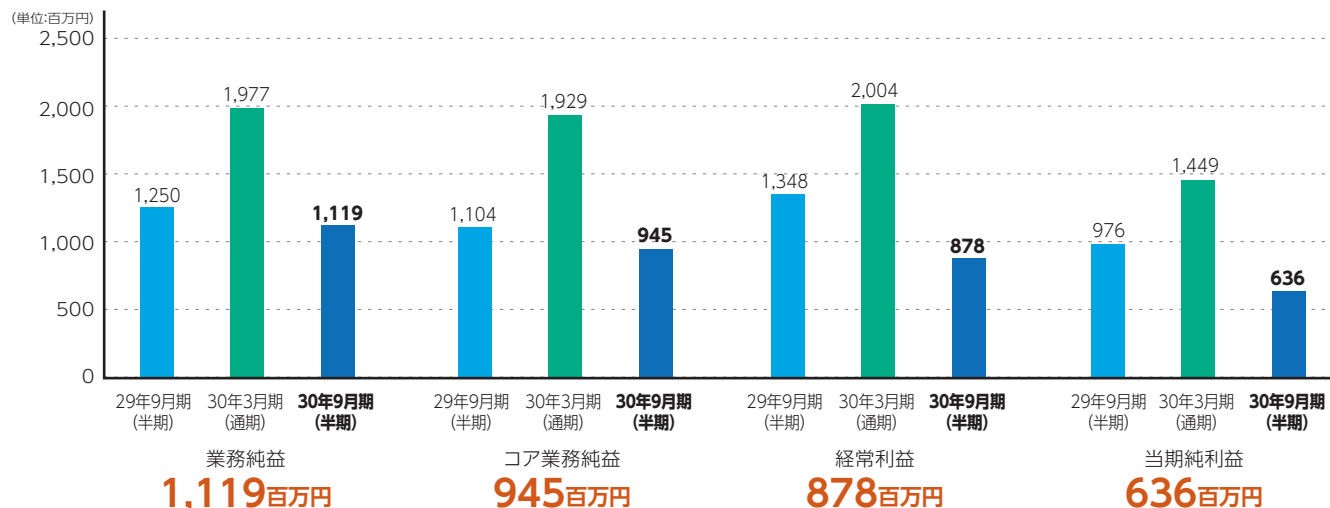
当期純利益 636百万円

(平成30年4月1日～9月30日)

おかげさまで、每期安定した利益を計上しています。

資金の効率的運用に努めましたが、金融政策の影響、将来の信用リスクに備え引当金を積み増したことから、経常利益は878百万円、当期純利益は636百万円と各々減益となりました。

【業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移】



※貸出金や預金などの信用金庫の本来業務による利益です。

※業務純益から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益等の一時的変動要因を差し引いた、本来業務における基礎的の利益です。

※本来業務による収益に、本業以外の普段活動による損益(臨時損益)を加減した利益です。

※経常利益に特別損益を加減し、法人税等の税金を差し引いた利益です。

(注) このミニディスクロは、本決算に準じた仮決算に基づき、自主的に開示するものです。